公立高校入試情報 山口県

【数学】

令和6年度山口県入試の全体傾向

- 大問数は例年より1問減って8問、小問数は22問で、ほぼ例年どおり。
- 大問1～3は小問集合(作図を含む)、大問4は関数 $y=ax^2$ 、大問5は確率、大問6は連立方程式の利用、大問7は円と相似(証明を含む)、大問8はデータの活用、1次関数、三平方の定理。
- 確率の求め方、図形の証明、相対度数について、記述問題は例年よりは少なかったが、出題された。
- 身のまわりの問題で、筋道を立てて正しく説明する力や、問題文や複数の資料から情報を正しく読みとる力が求められる。

■ 作図問題の出題

・作図の問題が例年出題されており、いろいろなパターンの問題があるので、対策が必要である。

■ 実生活への活用力をみる問題の出題

・身近な題材について、方程式・関数・図形などの知識を使って考える問題がよく出題されているので、数学的に考える力を養っておく必要がある。

★山口県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●	
		文字と式	●	●	●	●	
		方程式	●				
		比例と反比例	●			●	
		平面図形	●	●	●	●	
		空間図形	●	●			
		データの分析と活用	●	●	●	●	
	2年内容	式の計算	●	●	●	●	
		連立方程式		●	●	●	
		1次関数	●	●	●	●	
		図形の調べ方	●		●	●	
		三角形	●	●			
		平行四辺形		●			
		確率	●	●	●	●	
データの比較と箱ひげ図		●	●				
3年内容	式の計算		●	●			
	平方根	●	●	●	●		
	2次方程式	●		●	●		
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●		
	相似な図形	●	●	●	●		
	円の性質	●		●	●		
	三平方の定理		●	●	●		
	標本調査		●		●		
出題形式別の傾向	大問数		9	9	9	8	
	小問数		27	24	23	22	
	記述問題	図形の証明(説明)		1	1	1	1
		その他の説明・証明など		1	1	2	1
		立式・解法の過程の記述		1	3	1	1
		作図(図形)		1	1	1	1
		作図(グラフ)					